

Iancu 長官、米国商工会議所で演説

2018 年 4 月 15 日

JETRO NY 知的財産部

柳澤、笠原

USPTO の Andrei Iancu 長官が、米国商工会議所が 4 月 11 日に開催したイベント「Investing in American Innovation¹」において演説²を行い、特許制度の欠点ばかりに目を向けた議論を行うのではなく、プロイノベーション・プロ IP に向けた議論を行っていくことが重要であると訴えるとともに、過去数年間の法改正、判決および否定的な論調によって弱められた米国特許制度の信頼性を取り戻すと述べた。

そして、米国特許制度の信頼性を高めるための具体的な取り組みとして、Iancu 長官は、特許適格性の判断を容易にするための審査官向けガイダンスの発行に向けた検討、特許レビュー制度の予見性及び適格性を高めるための検討、さらには、審査時に特定される先行技術と訴訟時に特定される先行技術とのギャップを縮めることを目標に審査官の先行技術調査能力を向上させるための検討を進めているなどと述べた。

(以上)

¹ <https://www.uschamber.com/event/investing-american-innovation>

² <https://www.uspto.gov/about-us/news-updates/remarks-director-andrei-iancu-us-chamber-commerce-patent-policy-conference>